

研修案内



各幼稚園・学校におかれましては、未来を担う子どもの育成を目指して、日々教育実践を進めておられることと思います。また、新型コロナウイルス感染症拡大状況の変化に伴い、対策の見直しや教育活動との両立にも尽力されておられることでしょう。

さて、現在我が国には、人工知能（AI）やビッグデータなどの先端技術が、あらゆる産業や社会生活に取り入れられた超スマート社会（Society5.0）が到来しつつあり、社会の在り方の劇的な変化が見込まれています。広島市においても、タブレット端末等のICTを効果的に活用した学習を通じた、誰一人取り残さない「豊かで深い学び」の実現が求められています。

令和4年12月に出された中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」では、変化を前向きに受け止め、子どもの主体的な学びを支援する伴走者として学び続ける「新たな教師の学びの姿の実現」の必要性が述べられています。新たな領域の専門性を身に付けるなど、強みを伸ばすための一人一人の教師の個性に即した個別最適な学び、他者との対話や振り返りの機会を確保した協働的な学びの充実を通じた「主体的・対話的で深い学び」が教師にも求められています。

また、教育公務員特例法の改正に係って、一人一人の教師の学びの実現に向けた、管理職等と教師との積極的な対話に基づく、研修等の奨励を通じた資質向上のための体制の構築も求められており、このような時代の変化への教員の対応力を高める必要性については広島市教育大綱でも述べられています。

教育センターでは、こうした状況を踏まえ、大臣指針に示された教師に共通的に求められる資質能力の柱の再整理にあわせて変更した「校長及び教員としての資質の向上に関する指標（育成指標）」に基づき、計画的に研修を実施していきます。特に三つの柱として、若手教員、推進リーダー、管理職の育成に継続して取り組むとともに、経験年次や職務に応じて求められる力を身につけることができるよう、「子どもの理解」「授業づくり」「マネジメント力」の三つの内容に力点を置いて実施します。

これら研修の充実に向け、対面型研修においては、事例に基づく協議・演習・交流等により主体的・対話的な研修を実施するとともに、タブレット端末やクラウドも活用します。また、配付資料や同時双方向による研修も加え、より効率的、効果的な研修を目指します。

今後とも広島市の特色ある教育活動の推進に寄与するとともに、新たな教育を創造するための教育機関としての役割を担い、着実に取組を推進していきます。先生方の「学び」を支え、共に歩み続ける教育センターでありたいと考えます。本年度も積極的に教育センターをご活用ください。